川口いきもの調査の手引き

2024年3月

川口市

～はじめに～

この調査は、みなさんからお寄せいただいたデータを活用し、市内の自然や生きものの保全を図るとともに、調査に参加することにより、身の回りの生きものについて、多くのみなさんに興味や関心を持ってもらうことを目的に行います。

～服そうや持ち物について～

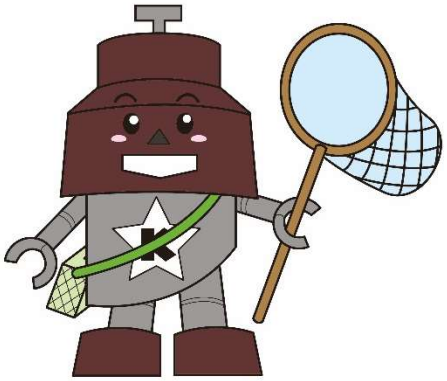
◇服そう

□帽子

□長そで、長ズボン

□運動靴（はきなれた歩きやすい靴）

□リュックサック



◇持ち物

□調査員証

□川口いきもの調査の手引き

□調査票

□筆記用具

□水とう・ペットボトル

□カメラ（スマートフォン）

□タオル

～調査する生きものについて～

この調査は指標生物１０種類（コサギ、コゲラ、シマヘビ、アズマヒキガエル、シオカラトンボ、コバネイナゴ、ミンミンゼミ、ナナホシテントウ、アゲハ、スミレの仲間）を含むすべての動植物を対象とした生きもの調査です。指標生物とは、生息する地域の環境条件の判定に用いられる生物のことを指します。

コサギ　　サギ科

提供：新井 俊夫さん

見られる時期：１年中

見られる場所：河川、池沼、水田など

俗にシラサギと呼ばれるサギ類で、河川や水田などの水辺でよく見られます。ダイサギやチュウサギと似ていますが、コサギはくちばしが一年中黒く、足の指が黄色いことから見分けることができます。

コゲラ　　キツツキ科

提供：江藤 弘道さん

見られる時期：１年中

見られる場所：雑木林、公園、街路樹など

スズメほどの大きさの、日本で一番小さなキツツキの仲間です。雑木林だけでなく、市街地の公園や街路樹などで見かけることもあります。雑食性で、木の幹の中にすむ昆虫や木の実などを食べます。

シマヘビ　　ナミヘビ科

提供：須崎　昇さん

見られる時期：４月～１０月（冬場は冬眠）
見られる場所：水田、草原、雑木林など
赤い目（虹彩）と４本の黒い縦縞模様が特徴ですが、まれに縦縞模様のない個体や体全体が黒くなる「黒化型」が現れます。毒は持っていませんが、気性の荒い性格の個体が多く、近づくと噛みついてくるため、観察するときは注意しましょう。

アズマヒキガエル　　ヒキガエル科

提供：中嶋　理人さん

見られる時期：2月～10月（冬場は冬眠）
見られる場所：雑木林、湿地、農地など
背中にイボのある大きなカエルです。鼓膜の上の大きなイボ（耳腺）から毒液を分泌します。雑木林などに生息しており、繁殖期（２～４月）以外はあまり水の中には入りません。夜行性で、昼間は倒木の下などに隠れています。

シオカラトンボ　　トンボ科

提供：長　恵子さん

見られる時期：５月～１０月
見られる場所：池沼、湿地、水田など
池沼や湿地などさまざまな水域に生息する最も身近なトンボの一つで、学校のプールでもヤゴがよく見られます。メスは麦わらのような黄色い体色をしていることから、「ムギワラトンボ」とも呼ばれます。

コバネイナゴ　　バッタ科

提供：宮澤 文策さん

見られる時期：７月～１１月
見られる場所：水田、湿地、草原など
体長16mmから40mmほどのバッタで、水田や湿地でよく見られ、ヨシなどのイネ科植物を好みます。一時は農薬の影響によって数を減らしましたが、近年は回復傾向にあります。はねの長さには個体差がありますが、短い個体が多いです。

ミンミンゼミ　　セミ科

提供：菅野 正信さん

見られる時期：７月～９月
見られる場所：雑木林、公園、街路樹など
サクラやケヤキによくとまり、「ミーンミンミン」と大きな声で鳴きます。東日本では平地で普通に見られますが、西日本では山地に生息しています。首都圏で個体数が増加していると考えられています。

ナナホシテントウ　　テントウムシ科

提供：山本 光莉さん

見られる時期：４月～１０月（冬場は冬眠）
見られる場所：公園、草原、河川敷など
幼虫も成虫もアブラムシを食べます。成虫は春から秋にかけて活動しますが、真夏の暑い時期は休眠するためあまり見られません。危険を感じると黄色い液体を出して身を守ります。

アゲハ　　アゲハチョウ科

提供：松田 茂樹さん

見られる時期：４月～１０月

見られる場所：人家の庭、公園、農地など

草原や農地など明るく開けた環境を好みますが、幼虫がミカンやサンショウなどのミカン科の植物の葉を食べるため、人家の庭先などでもよく見られます。さなぎの状態で越冬します。

スミレの仲間　　スミレ科

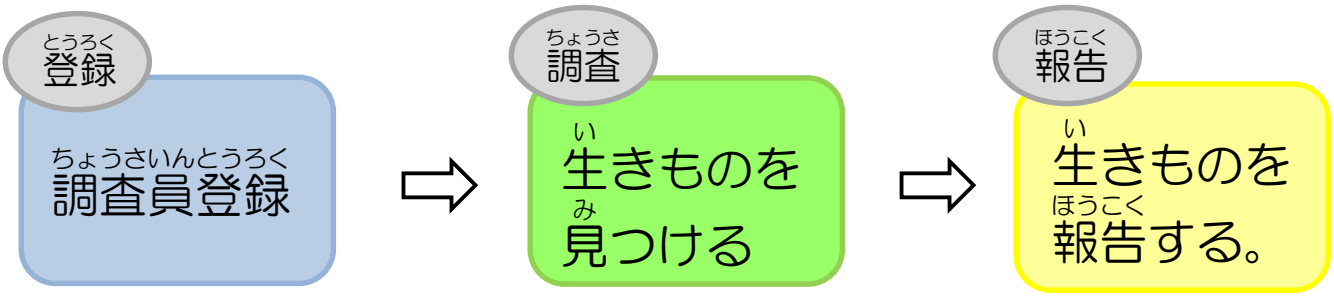
提供：日野 綾子さん

見られる時期：３月～５月（開花）

見られる場所：草原、林縁、市街地など

道ばたや人家の石垣など、日当たりの良い環境に生える多年草です。スミレの仲間は種類が多い上に分類が難しく、同じ種類であっても地域や環境によって花の色もさまざま（鮮やかな紫色～白色など）です。

～調査の流れについて～



◇調査員登録について

①氏名 ②住所 ③年齢 ④電話番号 ⑤パソコンなどのメールアドレス（任意） ⑥いきものログユーザー名（いきものログを利用するかた）を記入の上、郵送、ＦＡＸまたは電子メールで、自然保護対策課まで申し込みください。

登録完了後、手引き・調査員証・調査票を送付いたします。

◇報告方法について

（1）調査票（紙など）で報告する方法

必要事項（見つけた生きものの名前や日付、場所、数）を記入し、郵送やFAX、電子メールなどで自然保護対策課まで提出してください。市ホームページから調査票（参考様式）をダウンロードすることもできます。写真がある場合は一緒に提出してください。

また、生きものの名前がわからない場合でも、大きさや色などの特徴を絵に描いて報告することができます。

（2）「いきものログ」で報告する方法

「いきものログ」とは、環境省が運用する生きものの情報を収集・管理するインターネット上のシステムです。パソコンまたは専用のアプリをダウンロードしたスマートフォンから登録・報告が出来ます。

登録方法は以下のとおりです。

① 「いきものログ」に個人でユーザー登録をする。

② 自然保護対策課に、いきものログを利用する旨を連絡し、登録したメールアドレスを伝える。

③ 自然保護対策課から、団体登録をするための招待メールが届く。

④ 招待メールに記載されているURLにアクセスし、マイページのお知らせに届くメッセージから、団体に「参加する」ボタンをクリックする。

⇒登録完了

※「いきものログ」の詳細については、

「いきものログ」HP（https://ikilog.biodic.go.jp/）をご覧ください。

～調査期間について～

2024年４月１日（月）～2025年３月31日（月）

（報告は2025年４月30日（水）までに提出してください。）

調査結果はホームページなどに掲載する予定です。

～調査の際に気をつけること～

◇身近な自然にも、危険な生きもの（ハチやヘビなど）が、たくさん潜んでいます。草むらや林の中で調査するときは、気をつけて行動しましょう。

◇川や用水路、池などの危険な場所には近づかないでください。

◇民家や畑などに勝手に入るのはやめましょう。入るときは、必ず所有者の方に許可を取ってください。

問い合わせ　（送付先）

川口市　環境部　自然保護対策課

〒332-0001　川口市朝日４－２１－３３

（朝日環境センター・リサイクルプラザ棟３階）

電話　048-229-6735　　FAX　048-224-5304

E-mail　090.02510@city.kawaguchi.saitama.jp